



森づくり通信

No.22
平成24年6月22日
みやざき森づくりボランティア協議会

平成 24 年度みやざき森づくりボランティア協議会の総会を6月17日（日）に宮崎市の宮崎市民プラザギャラリー1で開催いたしました。議案の中で決算書・予算案に関して数字の訂正がありましたので、後日送付するという事で、各議案は承認されました。ありがとうございました。

今年の参加団体14団体ということで、全団体の参加はなりませんでした。それぞれ団体の活動日に重なりがあったりということでした。来年度はぜひ全団体の参加をお願い申し上げます。

なお、総会に先立ちまして大塚台緑地林里山整備実行委員会の村上会長、高見事務局長、会員の南條さんのご案内により、現地視察を行いました。関係の方々に感謝申し上げます。

大塚台緑地林里山整備実行委員会現地視察報告

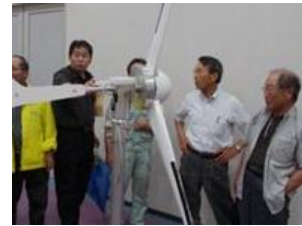
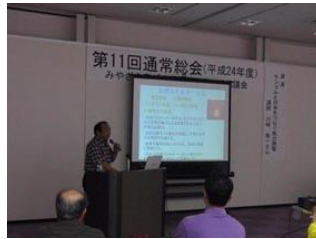


6月17日（日）午前10時30分より大塚台緑地林里山整備実行委員会の案内により約1時間雨の中にもかかわらず19名の参加で視察いたしました。高見さんの製作された資料により、里山整備の経過や地区住民の協力体制や行政との関係づくりなど、市街地での里山整備の苦労や楽しみを説明いただきました。

手作りの遊歩道整備やため池周囲の柵の設置などの整備状況を確認し、椎茸ほだ場、果樹園など会員の楽しみで整備した場所もあり、市街地の中に自然豊かな公園として再生された委員会の思いが詰まっているように思いました。

本当にありがとうございました。

川崎敬一先生「モンゴルと日本をつなぐ風力発電」講演会報告



現地視察の後、食事、移動をして宮崎市民プラザギャラリー1にて講演会を開催しました。参加者は約30名で、講師は独立行政法人国立宮崎工業高等専門学校技術支援センター長の川崎敬一先生でした。

自然エネルギーによる発電の形式の説明から、モンゴルに風力発電機を持ち込んだ経緯、モンゴルの生活と森との関係などをスライドを使いお話されました。

木と燃料のサイクルだけなら、森は今ほど荒廃はしなかったろうが、化石燃料を使用し始めた頃から、二酸化炭素の排出量が飛躍的に増えて、森林が吸収する二酸化炭素がそれに追いつかない状況が続いている。

先生がモンゴルに持ち込んでいた風力発電機は会場に展示もしていただきましたが、本体は10キロ程度の小さなもので、300～500ワットの出力があるものです。

会場からの質問では値段はどのくらいか、というものがありましたが、約20万円くらいでできるそうです。しかし、現在は太陽光パネルとバッテリー蓄電である程度の電力を賄う方が、宮崎などで自然エネルギーを使用する場合は効率的だということでした。

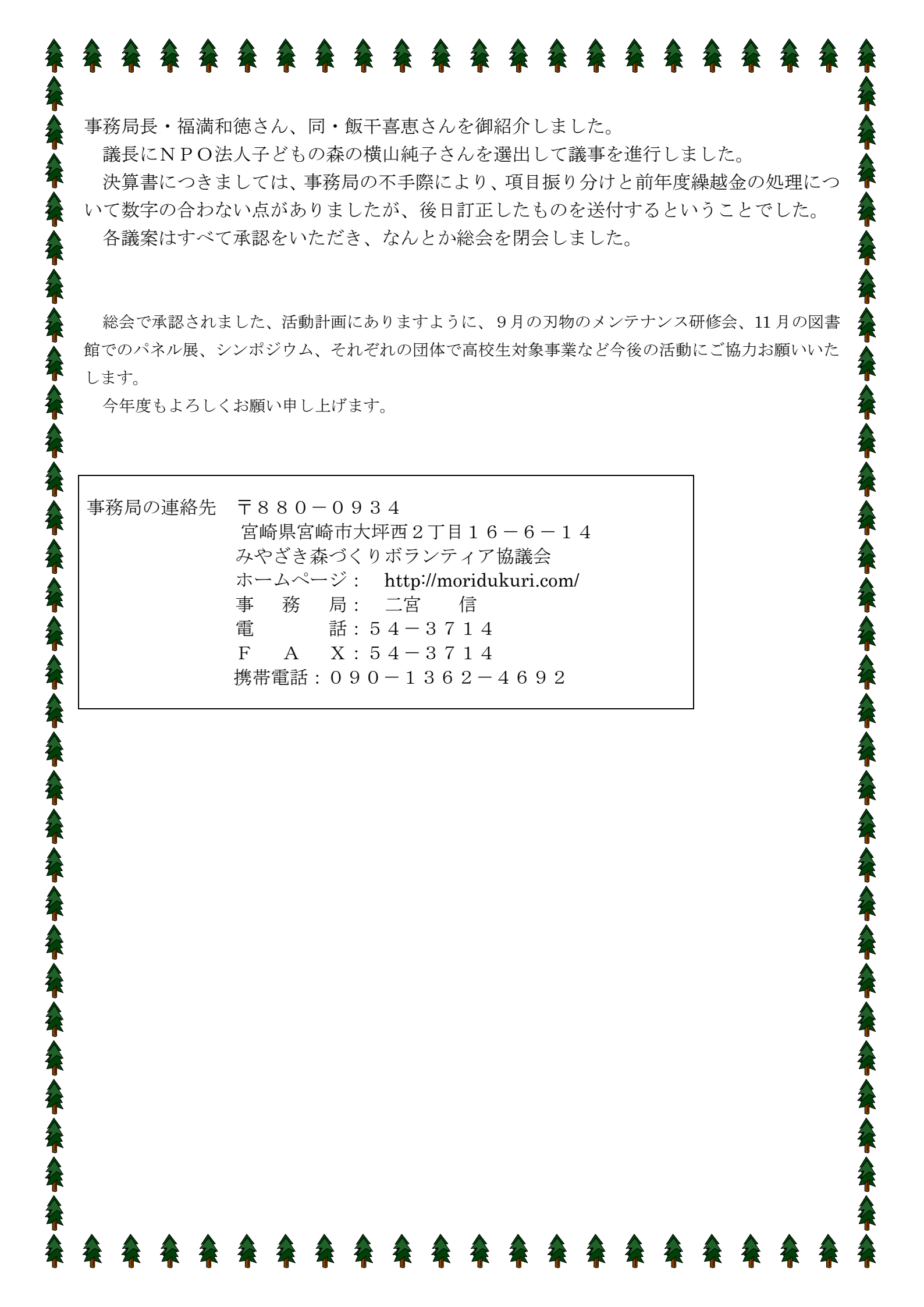
森の作業場、または山小屋などで風力発電と太陽光パネルの電力で森づくりを豊かにすすめられたらと、想像しながら講演を聞くことができました。

みやざき森づくりボランティア協議会総会報告



3時からの予定が講演が少し遅れて3時20分ころから総会を開始しました。

まず、樋口会長の挨拶があり、宮崎県環境森林部環境森林課みやざきの森林づくり推進室の主幹・福田芳光さん、同主任技師・岩切裕司さん、公益社団法人 宮崎県緑化推進機構の



事務局長・福満和徳さん、同・飯干喜恵さんを御紹介しました。

議長にNPO法人子どもの森の横山純子さんを選出して議事を進行しました。

決算書につきましては、事務局の勝手際により、項目振り分けと前年度繰越金の処理について数字の合わない点がありましたが、後日訂正したものを送付するというものでした。

各議案はすべて承認をいただき、なんとか総会を閉会しました。

総会で承認されました、活動計画にありますように、9月の刃物のメンテナンス研修会、11月の図書館でのパネル展、シンポジウム、それぞれの団体で高校生対象事業など今後の活動にご協力お願いいたします。

今年度もよろしくお願ひ申し上げます。

事務局の連絡先 〒880-0934
宮崎県宮崎市大坪西2丁目16-6-14
みやざき森づくりボランティア協議会
ホームページ：<http://moridukuri.com/>
事務局：二宮 信
電 話：54-3714
F A X：54-3714
携帯電話：090-1362-4692